

鈴鹿市民の  
**コミバスをよくする会**ニュース  
 (第15号・2014.12発行)

発行:(略称) **コミバスをよくする会**  
 事務局(仮):辻井良和 方  
 〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36  
 電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

# アンケートと説明会は 進んでいます

早いもので、もう師走となりましたが、いかがお過ごしですか。本格的な冬の到来を迎え、どうぞお体を大切にお過ごしください。

この間に、私たちの活動は少しずつ進んでいます。

9月12日から2日間、富山市で開かれた「日本高齢者大会」に参加しました。

地域作りの分科会で、地域交通問題について、長野県木曾町の前町長 田中勝巳さんの、広い町内どこまで行っても二百円バスを作った報告がありました。木曾町では、地元の御岳バスが完全撤退したので、町独自のバスシステムを作りました。

そのあと、鈴鹿市のコミバスよくする会の報告を行いました。鈴鹿市では無料のオンデマンドバスで、「生活交通」をテーマに運動していること、三重交通が営業しているもとでは、無料でないと実現できないことを、道路運送法の政令を示して報告しました。



名張市の市民バスを良くしようとする人達の集会で説明



マックスバリュ鈴鹿店でのアンケート活動

9月20日には、西村副会長さんの紹介で、マックスバリュ鈴鹿店でアンケート活動を行い、200人近い方のアンケートを頂きました。

9月30日には、名張市で市民バスのシステムを良くしようとする人達の集会があり、鈴鹿市での経験を聞きたいとのことで私が講師に呼ばれ、鈴鹿市をはじめ各地での経験や参考になる話をしてきました。コミバス、或いは生活交通は、今や各地で必要性が話され、高齢者をはじめ自動車免許のない主婦や子ども達のためにも良い解決方法が検討されています。

11月3日には、御園町の老人クラブの加藤会長さんにご承認を頂き、役員会にお邪魔して、鈴鹿市での「生活バス構想」を説明しました。参加者の皆さんからは、何人もの方から質問を頂き、詳しい説明が出来ました。またその場でアンケートも記入していただきました。

引き続き、各地の老人クラブの皆さんにご協力を頂き、アンケート活動を進めていきたいと願っています。  
 (辻井良和)

★根本で、困っている人達のために、お金を回すことをしてこなかったからです。

★政府が本当に地方創成というのなら、まずはコミュニティバスや生活交通に対してお金を出し、交通企業には儲かるところだけを運営するように、棲み分けを考えるべきでしょう。

★本当に地方で暮らせるようにするには、「生活交通」を無料で充実させる必要があります。

★声が高くなってきたので、政府は地方創成という言葉を使い始めました。今までも地方と名のつく政策を掲げながら、地方が疲弊していくばかりでした。

★しかし、成るほどと感心するようなものは、玉城町の他には三重県ではありません。

★弱者とと言われる人向けの交通システムが作られています。



## コミバスは、 どうなつとんの？

「こんにちは。あんたさん、毎日テレビばかり観とんのとちがうの」

「あ、正美さんか。そうやがな。ほんでも、面白くないわ。解散、解散で、選挙費用は700億円もかかるのやろ」

「税金でな」

「それより、ベルシティへ高倉健の映画来んやろか。こないだもな、おふうさんと話とったんや。いっぺん映画館でじっくり涙流したいと」

「そやる、だから、呼べばビューと来てくれるオンデマンドが必要やないか」

「正美さん、またコミバスの話か。どうなつとんの？

署名は集まっとるのかな」

「あっちこっちで、やってますに。わたしもチャレンジハウスというスーパー前で、訴えた。一人のおばあさんが、えらい乗り気でな、長いことしゃべってった。『足が無いのが、あかん。息子たちにもそうそう頼めんしな。独りでテレビ観とるより、二、三人でがやがやしゃべりまくって行きたいとこが、いっぱいある』」

「タオルもろたら『無料・生活バス』と書いてあった。それにな、何べん洗ろてもシャンとしとる。それからな、この上野にも一本、はよ欲しい」

「まあ見とってみな、なんとかする。交差点から南町を通過して、石薬師寺経由でし尿処理の道から神戸へ抜けるようにしたい。そうすりゃ、南町、上野、レインポーのみんなも利用できる」

「信じとってまあええかな。国も地方創生というとしな、まあ、がんばって」

「信じてとってまあええかな。国も地方創生というとしな、まあ、がんばって」

(加藤正美)



## あなたの声を 聞かせてください。



コミバスについて願っていること、自分にとって必要な理由、利用したい公共施設は何か、自分の利用方法など、あなたの声をお寄せください。

原稿は600字以内。「紙上匿名」でも結構ですが、原稿には本名と住所、電話番号を書いてください。写真もありましたらお願いします。

## 交通弱者と呼ばれる人々の 願いを実現させるために

コミバスをよくする会を立ち上げてからやがて3年が経とうとしています。この間、アンケート活動や地域懇談会の開催や他のコミバスの見学にも行き、特にスーパーマーケット前でのアンケート活動はたくさんの方に協力していただきました。

また鈴鹿市との話し合いも3回行いましたがいつも財源難を理由に中々私たちの要求に答えていただけません。

私は免許証を持っていませんので時々バスを利用しますが、乗客は少なくこの間は私たった一人、貸し切りバスでした。こんな空気を運んでいるようなバスに鈴鹿市はなんと年間6千万円も助成しているのです。

それよりもっと私たちの暮らしに密着したきめの細かい「生活交通」の取り組み、市民の声に耳を傾けていただきたいと思います。

今後も交通弱者と呼ばれる人々の願いを実現させるために地道な活動を続けてまいります。(中川信子)

## マックスバリュ長太の浦店で アンケート活動 (12/7)

長太のスーパーマーケット、マックスバリュ長太の浦店様のご厚意により、12月7日の日曜日、店頭でアンケート活動を行いました。

朝9時半から会員7名の参加で始めました。買い物客の皆さんの関心は高く、次々と立ち寄っていただき、2つ並べた机はずっと3、4人の方で満席状態でした。

午後3時までの予定でしたが、北風が強くて体の芯まで冷えてきたので、屋前に撤収。それでも2時間で97人の方にアンケート記入していただきました。来年もスーパー前でのアンケート活動をすすめていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いします。(事務長・橋詰圭一)

